

昨年度までの課題

- ▲児童に教える学習内容だったため、学習中の主体性が分かりにくかった。
- ▲様々な場面で主体的な姿を見せる児童の変容は見られた。しかし、7つの習慣の指導との因果関係は明らかではなかった。

研究主題

自分自身がリーダーになる児童の育成（目的）
～7つの習慣を取り入れた教科学習の充実（方法）～

今年度は「7つの習慣の考え」を国語科と体育科の授業に取り入れ、児童の主体性を高めるための研究を行った。

今年度の成果

【共通事項】

- 単元末の目標を意識して学習することで、児童が何をできるようになればいいのか考えながら学習に取り組めた。
- 教え合いや意見の交流など、他者と関わりながら活動、学習を行い、知識・技能の習得に繋がった。
- ペアやグループ学習を取り入れることで、児童が多くの意見を発現することができた。

【国語】

- ワークシートを工夫することで、思考が整理しやすくなり、理解が深まった。
- ネームプレートを使用したことや、数値化したことは児童の意欲を向上させるために効果的であった。
- 発問する際に選択肢を示すことで、全員が考えをもって参加することができた。

【体育】

- オノマトペで提示したことで、感覚的にポイントを押さえることができた。
- 様々な動きや技に合った活動場所を用意したことで、自分たちで学習の場を選んで活動することができた。
- 動画を効果的に使うことで、自分自身の改善ポイントを見付けることに繋がった。

今後、児童が一層「自分自身がリーダー」＝「主体的」に学習活動に取り組めるよう、教職員一丸となって研究を進めていく。